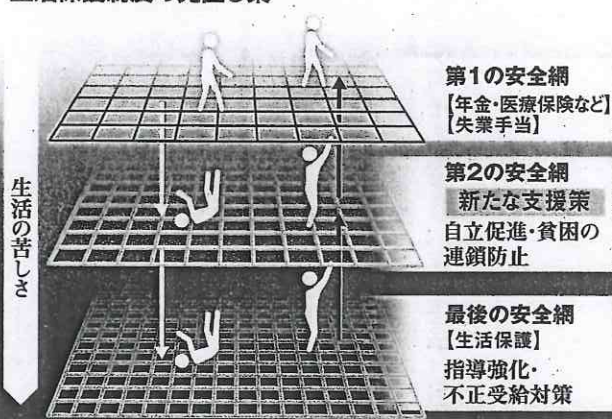


# ニュースがわからん! **ワイド**



## せいかつほご 生活保護制度が見直されるの？

### 生活保護制度の見直し案



自立・就労の支援策	生活保護引き締め策
すぐ一般の仕事につくのが難しい人に「中間的就労」の場を用意する	低収入・短時間の仕事でもまず働いてもらう
生活習慣を整える訓練や家計管理の支援	不正受給の罰則を強化
困窮家庭の子どもに対する学習支援	自治体の調査権限を強化し、保護費の使い道もチェックできるようにする
受給者が働いて得た収入の一部を積み立てたとみなし、自立するときに一括して支給	扶養ができない理由の説明を扶養義務者に求める
	価格が安い後発医薬品(ジェネリック)の使用を促す

## 自立支援を充実させるけど、引き締めも強まる

コブク郎 生活保護の二つを最近よく見るね。ユースを最近よく見るね。A 生活保護は、病気や失業で暮らしが苦しくなっ

一人を支える制度だ。憲法で保障された「健康で文化的な最低限度の生活」を守

ただ、初めての抜本的見直しが進んでいる。

アウルさん 初の抜本の見直し？ どういうこと？

A 政府は今の国会に生活保護法改正案などを出す予定なんだ。受給者の急増が背景にある。昨年10月の受給者は214万人。戦後最多を更新し続けている。



ホー先生 社会の高齢化が進んだせいかな？

A 受給者の8割以上は高齢者や母子家庭、障害や病気の人が占める。ただ、働ける世代で生活保護を受けざるを得ない人も増えてきているんだ。働ける世代を含む「その他」という分類の世帯の割合は、10年前に受給者の8%だったが、12年5月には18%になった。

ア 働ける人には働いてもらうのが一番よね。

ホー先生 随分きめ細かなサポートじゃな。

A 生活が苦しい家庭の子どもたちに対する学習支援も充実させる。高い世代などを払えない家庭の子どもたちも十分な教育を受けられず、大人になって貧困に陥る。そんな「貧困の連鎖」を防ぐためだよ。

コ 実現するといいわ。

A でも半面、生活保護を受け始めると、抜けるのはなかなか難しい。だから一歩手前で支援し、生活保護の利用者を減らす考えだ。

コ 具体的には？

A 今の案では、自治体に「総合相談支援センター」を置く。センターはNPOなどと協力し、その人生活リズムが乱れている人には生活習慣を整える訓練をする。お金の管理が苦手な人には家計簿の作成を指導する。

ア 確かに生活保護に厳しい意見もあるよね。

A 不正受給は10年度に



128億円、生活保護費の0.4%。不正受給で費用が増えているわけではないけど、人気芸人の母親が生活保護を受けていた問題などをきっかけに、制度を見る目は厳しくなった。

ホ 要するに「アメとムチ」の見直しなんじゃな。

A その通り。支援策も手厚くするが、同時に引き締め策も強化しようとしている。支援策には、必要な予算と人手を確保できるの不安の声がある。引き締めだけが先に進むのでは、と心配する声もあるよ。

ア 生活保護の生活費も下がると聞いたけど。

A 生活費にあたる生活扶助費を、13年度から3年かけて引き下げ、今より670億円減らすんだ。実際の引き下げ幅は世帯や地域で違うけれど、受給者世帯の96%で支給額が減るんだ。

(有近隆史)